

川中島の戦い開戦460年記念

山村に生きた武将たち

東の真田 西の大日方

長野市立博物館第56回特別展

会期 10月5日㈯～11月24日㈰
前期：10月5日㈯～10月27日㈰ 後期：11月2日㈯～11月24日㈰
休館日 10月7・15・21・28日、11月5・11・18日
会場 長野市立博物館特別展示室



関連行事

記念講演会

講師：中澤克昭氏（国立長野工業高等専門学校准教授）
日時：10月27日㈰ 午後2時から
場所：博物館会議室

ギャラリートーク (各回とも午後2時から)

10月5日㈯ 大日方の来歴
11月2日㈯ 小川大日方氏について
11月24日㈰ 真田を語る

真田信綱所用の鐘
(信綱寺蔵)

軍配
(個人蔵 長野県立歴史館寄託)

長野市立博物館

所在地：長野市小島田町八幡原史跡公園内
(電話026-284-9011)
開館時間：午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
入館料：一般300円 高校生150円 小中学生100円
(常設展示と共に。11月3日㈰は入館無料。
土曜日は小中学生無料。20名以上は团体割引)

西の大日方

長野市の西山地方には大日方氏という武将がいました。川中島の戦いの頃には、武田信玄の配下となりますが、その活躍の様子は当時の史料などからわかります。大日方氏は北信濃にあってはとても大きな勢力を持つ武将でした。

戦国時代が終わり、江戸時代になると松代藩真田家の配下となります。この地域の支配においては大きな力を持ち続けるのです。



牧島古城図（個人蔵 長野県立歴史館寄託）



大文字旗（個人蔵 長野県立歴史館寄託）



持仏 不動明王（個人蔵 長野県立歴史館寄託）

上杉家



上杉謙信画像（長野市立博物館蔵）



金小札白糸系成日の丸文童具足
(佐久市教育委員会蔵)



上杉十八將図（長野市立博物館蔵）



上杉二十四將図（長野市立博物館蔵）



武田二十四將図（長野市立博物館蔵）



武田信玄肖像画（長野市立博物館蔵）

武田家



武田信玄肖像画（長野市立博物館蔵）



武田信玄肖像画（長野市立博物館蔵）



銅製御正体（山家神社蔵）



血染めの陣羽織（信綱寺蔵）

東の真田

松代藩主となる真田家は現在の上田市真田町を本領の地とする武将でした。現在も真田町には真田家にかかわる遺跡が多く残ります。真田家が戦国時代に頭角を現し、江戸時代の大名として成長したのは、ひとつに武田氏からの絶大なる信頼を得ていたこと、ふたつに、その後天下人と称される、豊臣秀吉・徳川家康と互角に渡り合ってきたことが大きな要因と考えられます。

江戸時代にかけて北信濃支配の拠点・松代を居城としたことは、武田家から始まる真田の歴史を象徴するようです。



黄八幡の旗（真田宝物館蔵）

第3次 川中島の戦い

5回にわたる川中島の戦いのうち、第3回目の戦いを取り上げます。時は弘治2年（1556）、場所は現在の長野市西部の山村です。

武田信玄・上杉謙信は…

この年の冬、武田信玄は山村の武将・葛山衆を攻めます。

これを知った謙信は信濃に出兵。直接対決は上野原であったといわれています。山村の武将たちが川中島の戦いに巻き込まれたのでした。

なお、この戦いの後、武田信玄は室町将軍から「信濃守護」を認められます。

一方、上杉謙信は、このことで信濃攻略の正統性がなくなるのです。そのため、永禄2年（1559）に上杉謙信は上洛し、信濃出兵の正当性を将軍から得るのでした。



武田晴信書状（長野県立歴史館蔵）